

関西学連第1回定例戦

平成21年5月10日 城陽市総合運動公園

KOLA
横田 実

晴天の中行われた関西学連第1回定例戦。昨今のオリエンテーリング競技人口の減少が続く中、学生には頑張っしてほしいとエールを送ります。

■ まずは入り口で ■

「先生、『泥』って漢字間違えてるで」と受付のある建物に入るところで、生徒からの指摘。泥を持ち込まないようにとの注意書きがあるのだが…。しっかりとしましょう。

受付場所は、多くの参加者でごった返してきました。会場説明もあり、色々と運営者も精力的に動いていました。



■ NとBが一緒？ ■

さて受付をすませて、スタートが遅かったので、先に昼食を済ませてちょっと休憩。天気がいいので会場前の池のほとりで食べました。



ようやくスタート時刻になり、スタート地点に行き、いよいよスタート。ところが、NとBのスタート枠が一緒。当然、こういう場合はNとBのスタート時刻がずれているものなのだが、別々の受付をしていたため、スタート

時刻が重なっていることが判明。結局、Bはそのまま30分ずらすことで対応していた。

■ いったり来たり ■



城陽公園は、野山の部分もあり沢や尾根を使ったコントロール設置もできてコースとしては楽しめるものです。

今回は、真ん中部分で分断されているため、遊歩道を使った、行ったり来たりコース。

僕は、初心者で初めてのオリエンテーリング大会に参加させた生徒について行くつもりで、Nクラスの後から参加。「わからなければ止まっておくこと」という指示をしていたのですが、やはり自分で探す方が楽しいのがオリエンテーリング。中森君が2番コントロールへ行く地点で迷ってしまいました。とりあえず、他の初心者3人と地図読みを説明しながら9番コントロールまで進んだ時点で、もう一度もどつ

て、残り一人と合流。しっかりと回ってきました。



■ パンチングフィニッシュ ■

初めてのオリエンテーリングでなんとかこつをつかんだ子も、まだまだ地図の見方もわからない子もいて、すでにレベルの違いがでてしまいました。

経験を積まなければ、こつがつかめないのがオリエンテーリング。しっかりと楽しんでいきましょう。

(横田 実)

